

第3次大崎市総合計画の作成にあたり

「中高生のみなさんにアンケートを行いました！」

○調査の目的

中学生や高校生の皆さんが、現在の大崎市の姿をどのようにとらえているか、将来どのようなまちになってほしいと思っているかを把握し、本市で検討を進めている「新しいまちづくりの計画」に意見を反映するために市内の学校に通う中学2年生、高校2年生の方を対象にアンケート調査を行いました。

○調査の概要

調査対象者：市内中学校へ通学する中学2年生・市内高校へ通学する高校2年生

調査期間：令和7年12月8日（月）～12月22日（月）

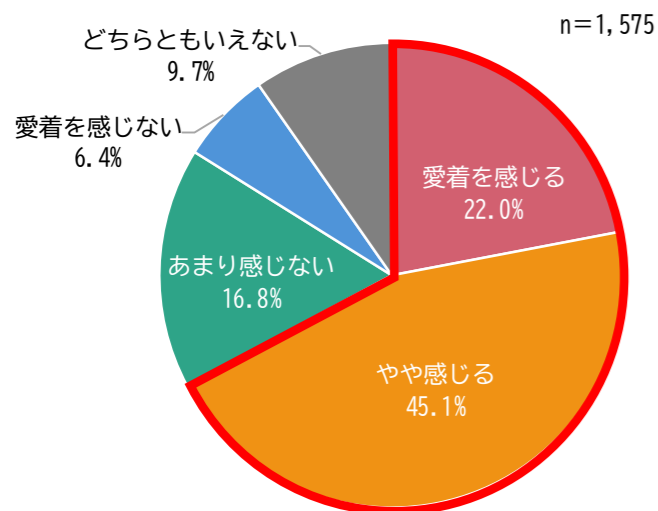
※令和8年1月10日（土）回答分まで集計に含めた

調査方法：学校配布／WEB回答

○回収数・回収率

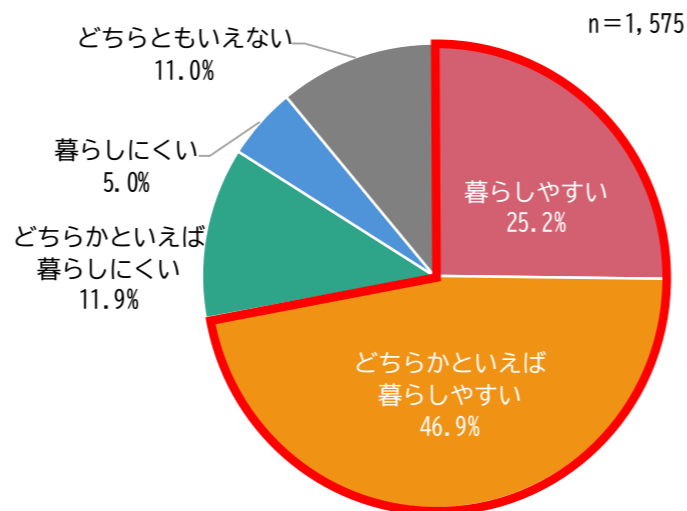
配布数	総回収数	有効回収数	無効回収数	有効回収率
2,267	1,583	1,575	8	69.5%

Q あなたは大崎市や学校周辺の地域などの身近な範囲に、どのくらい愛着を感じていますか。



大崎市に愛着を感じているかでは、「愛着を感じる」と「やや感じる」を合わせた『愛着を感じる』は67.1%と約7割となり、愛着を感じている人が多いことがうかがえました。

Q あなたは、大崎市で暮らすことについてどのようなイメージをお持ちですか。



大崎市で暮らすことについてのイメージでは、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』は72.0%と7割を超え、暮らしやすいと感じている人が多いことがうかがえました。

Q 大崎市での生活について、良い点・満足している点は何ですか。（複数回答）

- 1 自然が豊かで調和がとれている点 (35.1%)
 - 2 文化や歴史を大切にしている点 (31.8%)
 - 3 環境にやさしい点 (25.8%)
- n=1,575

Q 大崎市で生活するうえで、不満・不足・課題を感じている点は何ですか。（複数回答）

- 1 観光が盛んでない点 (38.0%)
 - 2 公共交通が利用しにくい点 (27.7%)
 - 3 道路環境が整備されていない点 (26.9%)
- n=1,575

こんな意見がでました

「ここがいいな」「自慢できるな」や「ここは困っている」「こうだったらいいのに」と思うこと

強み	弱み
<p>①「食」のブランド力 「お米がおいしい」「食べ物おいしい」「名産品がある」 ⇒米や食が豊かであることがトップ。</p> <p>②自然・景観の魅力 「自然が豊か」「景色が美しい」 ⇒自然や景観の評価が上位。</p> <p>③地域資源の魅力 「鳴子温泉地域には温泉がある」「スキー場がある」「鳴子ダムがある」 ⇒観光資源の豊富さが魅力。</p> <p>④大崎耕土・農業産業 「世界農業遺産である大崎耕土があること」 ⇒世界農業遺産である大崎耕土があり、農業が盛んであることが魅力。</p> <p>⑤新幹線の停車駅 「新幹線が通っている」「首都に行きやすい」 ⇒新幹線が通っていることにより移動の利便性への評価が高い。</p>	<p>①インフラ整備不足（バス、電車、道路など） 「道路整備が整っていない」「交通の便が悪い」 ⇒道路の舗装や新幹線以外の公共交通機関の利便性向上が課題。</p> <p>②商業施設の不足 「買い物できる所が少ない」「行きたいと思う商業施設が周りにない」「店が少ない」 ⇒買い物の利便性と商業のにぎわいが課題。</p> <p>③就業環境が限られる 「地元で働ける職業が限られる」 ⇒市内での就職の選択肢が少ないと、将来は市外で暮らす可能性も。</p> <p>④運動施設、遊び場の不足 「子供が遊べる場所が少ない」「スポーツできる公共施設が少ない」 ⇒運動施設や子どもの遊び場の設置や整備を希望。</p> <p>⑤生活環境がよくない 「空き家が多い」「治安が悪い」「ポイ捨てが多い」 ⇒防犯体制の強化や空き家対策、ポイ捨て防止への対策が求められる。</p>



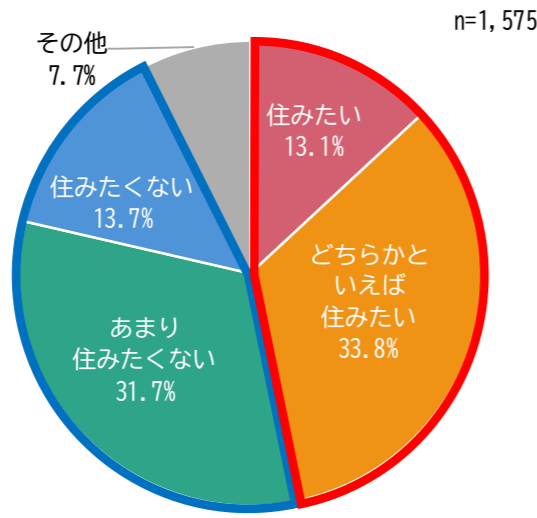
強み・弱みをきいたよ!

大崎市の強みでは、「食」のブランド力が最も意見が多く、特に「お米がおいしい」の意見が大半を占めました。第2位以降では、自然や観光資源、農業など大崎市の持つ魅力の意見が多くみられました。

大崎市の弱みでは、「インフラ整備不足」が最も意見が多く、特に「道路の整備不足や日常での公共交通機関の不便さ」の意見が多くみられました。第2位以降も日常生活に関わる意見が多く、商業施設、就業、遊び場などさまざまな場面で選択の幅が限られていることがうかがえました。



Q あなたは、大人になってからも大崎市に住みたいと思いますか。



『住みたい』
46.9%

わずかながら『住みたい』が多くなってはいますが、ほぼ同程度の割合となっています。



住みたいと思う理由は
どういうところ？

いいところもあるけど、
ここがよくなってほしいな…

それぞれ理由を聞いてみました

Q 「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と思った理由は何ですか。(複数回答)

- 1 親しくしている友達が多い (46.1%)
 - 2 地元に愛着がある (45.7%)
 - 3 親や家族等と暮らしたい (41.3%)
- n=1,575

Q 「あまり住みたくない」、「住みたくない」と思った理由は何ですか。(複数回答)

- 1 遊ぶ場所がない (54.7%)
 - 2 働きたい職場がない (45.9%)
 - 3 公共交通が不便 (35.1%)
- n=1,575

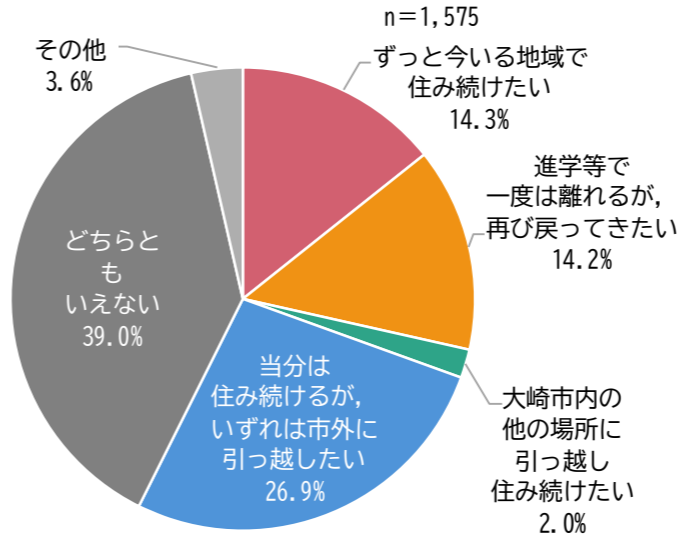
「住みたい」と思った理由では、上位3項目とも4割を超える結果となっており、慣れ親しんだ地元や家族・友人とのつながりが、大人になっても住みたいと思う大きな要素になっていることがうかがえました。

「住みたくない」と思った理由では、「遊ぶ場所がない」が5割、「働きたい職場がない」が4割を超え、選択肢が少ないことが、大人になっても住みたくないと思う大きな要因になっていることがうかがえました。



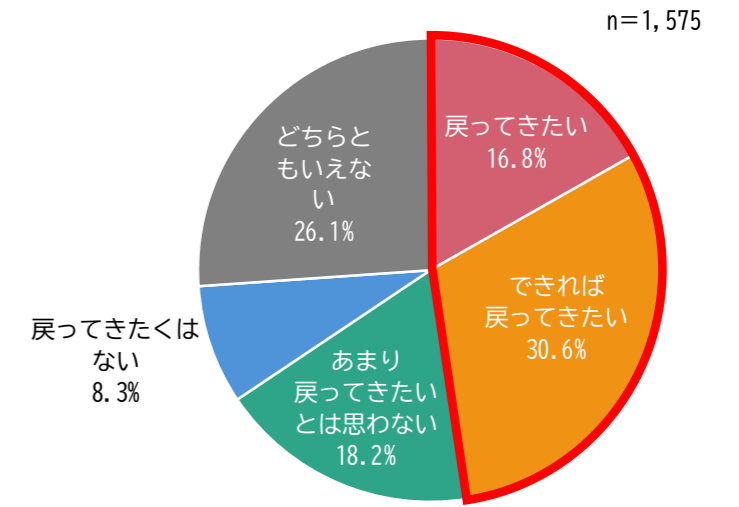
アンケートへのご協力ありがとうございました！
皆さんの声をもとに、総合計画をより良いものにしていきます！

Q あなたは、大人になってからも大崎市に住み続けたいと思いますか。



大人になっても大崎市に住み続けたいかでは、「当分は住み続けるが、いずれは市外に引っ越したい」が約3割と最も多く、将来転出を考えている人が多いことがうかがえました。一方で、約4割が「どちらともいえない」と回答しました。

Q 大崎市外に転居することになった場合、いつかは大崎市に戻ってきたいと思いますか。



転居することになっても大崎市に戻ってきたいかでは、「戻ってきたい」と「できれば戻ってきたい」を合わせた『戻ってきたい』が約5割と、一度市外へ転居しても、大崎市へ戻ることを考えている人が多いことがうかがえました。

Q 大崎市に「住み続けたい」「戻ってきたい」という気持ちが高まるきっかけとして、効果が大きいものを【最大3つ】お選び下さい。

- 1 公共交通が利用しやすく快適に暮らせるようになる (26.5%)
- 2 観光が盛んになる (23.7%)
- 3 子育て支援が充実する (18.9%)

n=1,575



「住み続けたい」「戻ってきたい」という気持ちが高まるきっかけとして、効果が大きいものでは、「公共交通が利用しやすく快適に暮らせるようになる」が約3割と最も多く、新幹線が通っているものの、その他の公共交通機関の利便性が悪いとの意見が多くみられます。日々の生活にも直結する公共交通機関の利便性の向上をはかっていくことが重要であることがうかがえます。第2位の「観光が盛んになる」では、観光がさらに盛んになれば大崎市が発展するという期待がこめられ、第3位の「子育て支援が充実する」では、経済的支援や働き方の柔軟性向上などが大きな要素になっていることがうかがえました。

お問い合わせ

大崎市役所市民協働推進部政策課
電話：0229-23-2129 FAX：0229-23-2427
E-mail：seisaku@city.osaki.miyagi.jp

